

シカをペットフードに シカポストで24時間受入OK！

NPO法人cambio（多可郡多可町加美区）



課 題

- ・シカの食害が町内の農林業に深刻な影響。
- ・捕獲したシカの低利用率と町の焼却費用増大。
- ・耕作放棄地の増加、遊休施設が有効活用されていない。
- ・障害者の働く場所が不足。



シカポスト

取 組

- ・捕獲後食用にできないシカをペットフードに加工する。
- ・捕獲されたシカは、シカポスト(冷蔵庫)で24時間受入可能に。
- ・加工場は町の遊休施設である旧給食センターを活用し、ペットフードに配合する野菜は耕作放棄地や耕作を依頼された田で栽培。加工作業や野菜の栽培は障害者が行う。
- ・令和元年度から多可町以外の県内2町からシカを受け入れる。

シカポストとは

- ・捕獲したシカを受入れる冷蔵庫。
- ・捕獲してからの時間に関係なく、いつでも受入が可能となり利用率が向上。ほぼ全てのシカが回収されるようになる。
- ・確認は受入れ時に監視カメラで搬入の様子を記録し、捕獲者は伝票に必要事項を記載してシカの足に付ける。
- ・月末に映像と伝票を突合し搬入数量を集計して町へ報告する。



シカの足に伝票を付ける



効 果

- ・捕獲者はシカポストの利用で、食用不可のシカの埋却作業が無くなった。
- ・町のシカ焼却費の負担がこれまでの約1/5になった。
- ・処理頭数を月末に集計報告するので町の確認作業が大幅に軽減された。
- ・耕作放棄地の解消や町の遊休施設が有効活用された。
- ・障害者が恒常的に働く場所が確保された。
- ・ペットフードの売上が好調で、他のB型事業所を上回る工賃が支給されている。



原材料となるキクイモの収穫風景

今後の計画

- ・キャットフードは、猫の嗜好性のためか販売数が伸びず、配合等を研究し新たな製品開発に取り組む。
- ・小さなブランドのメリットを活かし、顧客のニーズにあったオーダーメイドのペットフード作りに取り組む。
- ・胃と腸はペットフードの原材料として使用できないので、廃棄物として焼却処分しているが、これを資源として有効活用する方法を検討している。
- ・野菜は地元の農家等と連携を密にして、形の悪い規格外品の活用拡大に取り組む。



人気の商品